

第6学年〇組 道徳学習指導案

指導者

1 主題名 命の尊さ 高学年3-(2) 生命尊重

資料名 「命を見つめて」 (参考資料『瞳スーパーデラックス』西日本新聞社発行)

2 主題設定の理由

- 本主題は、「生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重し精いっぱい生きようとする心情を育てる」ことを主なねらいとしている。

生命尊重は、人間尊重の基盤であり命の誕生から死に至るまでの過程を理解し生命のかけがえのなさを自覚できるようにすることが重要である。現代社会は、人の死に関する事件があふれている。その一方で少子化や核家族化の影響で人の誕生や死に直面することがあまりない児童にとって、生や死がどこか他人事で死の重さや生命のかけがえのなさを実感することは少ない。

そこで、人間の死の重さや生きることの尊さを深く考えさせ、生命を見つめ直すことによって自他の生命を尊重し精いっぱい生きようとする心情を育てることは大変意義深いと考える。

- 本学級の児童は、これまでの学習や体験で、生命は大切、限りがある、生命はつながっていることを理解している。実態調査「生命がかけがえのないものであることを知り、自分や他の人の命を大切にする」という項目においても、82%が「力がついた、気をつけるようになった、がんばろうと思う」と答えている。しかし、命は大切だと理解していても日常生活では命を軽視した言動が見られたり命の尊さを自分自身や身近な人の生命とつないで考えたりするまでには至っていない。また、周囲の目が気になり精いっぱい努力してよりよく生きようとする気持ちを隠してしまうことがある。

そこで、生命は限りあるものだというを深く考えさせ、生命の尊さや精いっぱい生きることの大切さを感じさせることが必要であり、このことは、自他の生命を尊重し力強く生きぬこうとする心情を育てるためにも意義深いと考える。

- 本資料は、『瞳スーパーデラックス』（西日本新聞社発行）を参考に作成し、中心資料として、大牟田市に在住し、がんのために中2で亡くなった猿渡瞳さんが、亡くなる2ヶ月前に「青少年健全育成弁論大会」で発表した「命を見つめて」という作文の原稿から抜粋した。大切な仲間が次々に亡くなっていく中で本当の幸せとは「今、生きている」ことだと気付いた「わたし」は、「今生きていることに感謝して悔いのない人生を送ってください」と呼びかけている。そのメッセージから、命の尊さ、生命を尊重し力強く生きぬくことの大切さを感じ取ることができる資料である。

本時指導にあたっては、「わたし」がメッセージに込めた気持ちを共感的にとらえさせ、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入では、瞳さんの写真を見て知っていることを発表させ本時のめあてを確認し、資料につなげる。展開前段では、生命の尊さや精いっぱい生きることの大切さを訴えたいという「わたし」の気持ちに共感させる。そのために、作文の一部抜粋部分は、実際のスピーチをテープで流して力強い言葉に触れさせる。また、道徳ノートに記入させ小グループや学級全体で交流することを通して「わたし」の気持ちを深くとらえさせてねらいとする価値へ迫らせる。展開後段では、命を大切にできたことや命について深く考えたことを想起させ、価値を内面的に自覚させる。終末では、ゲストティーチャーの住職堤さんの命の大切さや精いっぱい生きることの大切さについての話を聞かせ、今後の生活での価値に対する意識の継続を図る。

3 本時のねらい

自他の生命を尊重し、精いっぱい生きようとする心情を育てる。

4 本時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第6学年〇組教室に於いて

5 地域との関連(地域の一・もの・ことの活用)

地域題材: 命を見つめて 地域人材: 〇〇院住職

6 準備 資料「命を見つめて」、挿絵、道徳ノート、弁論大会のテープ

7 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<p>1 瞳さんの写真を見て思ったことを出し合い、本時のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生の女の子。 ○ がんで亡くなった。 ○ 明るい人みたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> めあて _____ いのちについて 考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の方向付けをするために、瞳さんの写真を提示してどんな人が想像させる。
展 開 前 段	<p>2 資料「命を見つめて」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 涙が次から次へとあふれてきたときの「わたし」の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どうして病気になるの。 ○ 悲しい。信じたくない。 ○ 足を切りたくない。 <p>(2) がんに負けないで一生懸命弁論大会で話しているときの「わたし」の気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> がんに負けないで一生懸命弁論大会で話しているわたしは、どんな気持ちでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生きているだけでとてもすばらしいと感じてほしい。 ○ 命を大切に生きてほしい。 ○ 生きていることに感謝して精いっぱい生きてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の範読を通して、資料「命を見つめて」の概要をつかませる。 ○ 「わたし」の心情をとらえやすくするために、弁論大会の言葉は、実際の瞳さんの声を聞かせる。 ○ 抗がん剤治療、副作用の言葉の意味を補足説明する。 ○ 「わたし」の気持ちを共感的に理解させるために、道徳ノートに気持ちを書かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたし」の気持ちを深めさせるために、道徳ノートに気持ちを書かせた後、グループで話し合いをさせる。
展 開 後 段	<p>3 自分の生活を振り返り、命を大切にできたことや命について深く考えたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦争体験の話聞いて、命の大切さについて考えた。 ○ 病気になったとき、体を大切にしようとして心がけるようになった。 ○ 赤ちゃんが生まれるときの学習をしたとき、命の誕生はすごいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の大切さを内面的に自覚できるように、資料から離れ、自分の生命に対する考えを想起させる。 ○ 想起できやすいようにするため、生命を大切にできたことや命について深く考えたこと具体例を挙げる。
終 末	<p>4 ゲストティーチャー〇〇さんの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話を聞くことを通して、生命尊重の価値意識の継続を図る。

8 板書計画

命を大切にできたこと、命について深くかんがえたこと

めあて
命について考えよう。
「命を見つめて」

一生けん命弁論大会で話しているとき

半年の命
なみだが次から次へとあふれてきたとき

- ・ どうして病気になるの。
- ・ 悲しい。信じたくない。
- ・ 足を切りたくない。

病気とたたかう

←

仲間
の死

かみがぬける

↓

お母さん
にあたる

- ・ 生きているだけでとてもすばらしいと感じてほしい。
- ・ 命を大切に生きてほしい。
- ・ 生きていることに感謝して精いっぱい生きてほしい。

9 道徳ノート

命を大切にできたことや命について深く考えたことを思い出しましょう。

めあて
「命を見つめて」

道徳ノート
六年 組 名前 () 月 () 日 ()

○ がんに負けないで一生けん命弁論大会で話をしているときの「わたし」は、どんな気持ちでしょうか。
